

国内外にわたる観光・交流の関西の実現（山陰海岸ジオパーク）【平成23年度運営目標 広域観光・文化振興分野】

<b>戦略的課題（目指す方向性）</b>	<p>◆<b>関西の強みを活かし、観光面から関西の浮揚を推進</b></p> <p>○世界ジオパークネットワークに加盟した山陰海岸ジオパークの魅力を磨き上げるとともに、国内外からの観光交流を活性化させ、日本を代表し、世界に誇るジオパーク地域を形成することにより関西観光の発展を目指す。</p>
----------------------	--

施策推進上の目標（実現に向けた今年度の目標）		計画以上=◎ 概ね計画どおり=○ 計画どおりに進んでいない=×
平成23年度運営目標		達成状況（中間）
<p>◆<b>山陰海岸ジオパークの認知度の向上</b></p> <p>・積極的な各種メディアへの広報展開、ウェブサイトを活用した海外への情報発信や東アジア（中国）での観光プロモーションなどを実施し、山陰海岸ジオパークを関西をはじめ国内外へアピールする。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国トッププロモーション（平成23年7月）</li> <li>・韓国トッププロモーション（平成23年9月）</li> <li>・京阪神主要駅において山陰海岸ジオパークのキャンペーン活動を実施（平成23年6～7月）</li> <li>・ウェブサイトの多言語化などのサイトリニューアルに向けての検討会を開催（平成23年11月）</li> </ul>
<p>◆<b>エリア内の地域資源の磨き上げ</b></p> <p>・地形・地質、植物・生物、歴史・文化・人々の暮らしなど、山陰海岸ジオパークエリアの魅力ある資源を組み合わせ、山陰海岸ジオライナー（鳥取～豊岡間）なども活用し、外国人にアピールするようなテーマ性のある山陰海岸ジオパークエリアの広域観光ルートの設定や、山陰海岸ジオウォークなど関係県が一体となって取り組む様々な広域イベントを企画、開催する。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時快速列車「山陰海岸ジオライナー」を活用したツーリズム活動の推進（平成23年4月～）</li> <li>・山陰海岸ジオパークエリア全域でのウォーキングイベント「山陰海岸110kmウォーク」の開催（平成23年10月）</li> <li>・広域観光ルート策定タスクフォース会議を開催（11月：2回開催）</li> </ul>

達成状況（中間）の総合評価	取組みを踏まえた今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西における広域観光連携のモデル的な取り組みとして、山陰海岸ジオパークの認知度の向上などの取り組みを重点的に実施するため、海外においては中国及び韓国でトッププロモーション（中国；7月、韓国；9月）において山陰海岸ジオパークについてアピールしたほか、国内では京阪神主要駅などでプロモーション活動を実施した。</li> <li>・また、「関西観光・文化振興計画」で定める広域観光ルートにジオパークを盛り込むとともに、プロモーション等により外国人観光客の誘客を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰海岸ジオパークは、世界に誇れる観光資源を有しながら、ジオパークそのものの認知度が低いこともあり、新たな観光素材としてそのポテンシャルを十分に活かし切れていない。</li> <li>・このため、広域観光・文化振興分野における広域観光連携のモデル的な取り組みとして、山陰海岸ジオパークのトップセールスや観光ルートとしての活用など、重点的に山陰海岸ジオパーク関係事業を推進する。</li> </ul>

**世界に開かれた経済拠点を有する関西【平成 23 年度運営目標 広域産業振興分野】**

<b>戦略的課題（目指す方向性）</b>	<p>◆世界に開かれた経済拠点を有する関西</p> <p>○グローバル化に伴う地域間競争に打ち勝つため、構成団体の強みを東ね、弱みを補うことにより、関西全体で「人・モノ・情報」の流動化を図り、世界に開かれた西日本の経済拠点“関西”を目指す。</p>
----------------------	--

施策推進上の目標（実現に向けた今年度の目標）		計画以上=◎ 概ね計画どおり=○ 計画どおりに進んでいない=×
平成 23 年度運営目標		達成状況（中間）
<p>◆<b>関西産業ビジョン（仮称）の策定</b></p> <p>・有識者で構成する「関西産業ビジョン（仮称）策定委員会」を設立し、広域産業課題に対応した関西産業活性化のための将来像や戦略等を取りまとめます。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西産業ビジョン（仮称）策定委員会（4回開催）</li> <li>・関西産業ビジョン（仮称）（中間案）の策定（平成 23 年 8 月）</li> <li>・パブリックコメント実施（11 名から延べ 19 件のご意見・ご提言）（平成 23 年 9 月）</li> </ul>
<p>◆<b>公設試験研究機関の連携</b></p> <p>・関西の公設試験研究機関が保有する機器等技術支援情報の共有、設備の共同利用、人材交流を行い、連携を推進します。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関の機器等情報の共有・発信のため、データベースのプロトタイプを作成</li> <li>・機器利用料金の構成府県内企業に対する取り扱いを協議、H24 年度当初実施に向け検討中</li> <li>・人材交流のため、各機関職員の共同研究会（平成 23 年 7 月 於：大阪府）、各機関の研究成果の共同発表会（平成 23 年 11 月 於：徳島県）を開催</li> </ul>
<p>◆<b>合同プロモーション・ビジネスマッチングの実施</b></p> <p>・関西のものづくり力の共同プロモーションの実施、ビジネスマッチング商談会の広域実施など、広域的取り組みによるビジネスチャンス・販路開拓拡大を図ります。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西機械要素技術展で関西のものづくり力を PR（平成 23 年 10 月 於：インテックス大阪）</li> <li>・日産自動車株式会社と関西ものづくり中小企業とのビジネスマッチング商談会を開催予定（平成 24 年 1 月 於：日産自動車(株)テクニカルセンター(神奈川県)）</li> </ul>
<p>◆<b>新商品調達認定制度によるベンチャー支援</b></p> <p>・地方自治法の規定に基づく随意契約制度を活用して、構成府県における中小企業者の新商品調達機会等の拡大を検討し、新事業創出支援を行います。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域連合と構成 6 府県で域内中小企業の新商品を認定する新制度を創設、新商品の募集開始（平成 23 年 12 月）</li> </ul>

達成状況（中間）の総合評価	取組みを踏まえた今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に掲げた取り組みは、概ね計画どおり達成できた。</li> <li>・今後は、広域産業振興分野の旗印となる「関西産業ビジョン（仮称）」に戦略として位置づけられた取り組みを、着実に実現していくことが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西産業ビジョン（仮称）の戦略に基づく事業の実現を図る。</li> <li>・また、戦略取り組みを実行するための、構成府県による役割分担や、経済団体や大学の積極的な参画など、事業推進体制の確立を図る。</li> </ul>

**医療における安全・安心ネットワークが確立された関西【平成 23 年度運営目標 広域医療分野】**

<b>戦略的課題（目指す方向性）</b>	<b>安全・安心の医療圏「関西」の実現</b> ○ドクターヘリの配置・運航など、広域的な救急医療体制を充実させるとともに、各地域における医療資源の有機的な連携を図ることにより、二重・三重のセーフティネットを構築する。 ○三連動地震（東海・東南海・南海地震）などの大規模広域災害の発生に備え、東日本大震災での支援活動を踏まえた「広域災害医療体制」を構築することにより、関西全体における「減災」効果を高め、災害に強い医療提供体制を整備する。	
<b>施策推進上の目標（実現に向けた今年度の目標）</b>		
平成 23 年度運営目標		達成状況（中間）
<b>◆関西広域救急医療連携計画の策定</b> 関西の府県域を越えた広域救急医療連携の更なる充実に向け、「ドクターヘリの最適配置・運航」を中心とする「関西広域救急医療連携計画」の策定を行う。	○	・関西広域救急医療連携計画中間案の策定（平成 23 年 7 月） ・パブリックコメント実施（5 名から延べ 12 件）（平成 23 年 9 月） ・関西広域救急医療連携計画策定委員会（2 回開催）
<b>◆東日本大震災における医療支援活動の検証</b> 「広域災害医療体制」の構築を図るため、東日本大震災における医療支援活動を検証し、「広域救急医療連携計画」の策定に資する。	○	・ドクターヘリ検討部会において検討（3 回開催） ・広域医療調整会議において検討（5 回開催）
<b>◆広域的なドクターヘリの配置・運航</b> 現在、連合管内で運航している 3 機のドクターヘリについて、本年 4 月に連合へ事業移管した、3 府県（京都・兵庫・鳥取）ドクターヘリ事業に続き、「大阪府」及び「和歌山県」の事業についても、計画策定後の早期移管に向け、関係機関と調整する。	○	・ドクターヘリ検討部会において検討（3 回開催） ・広域医療調整会議において検討（5 回開催）
<b>◆近畿府県合同防災訓練を活用した「災害医療訓練」の実施</b> 今年度、徳島県で実施される「近畿府県合同防災訓練」において、各府県の「DMAT」や「ドクターヘリ」等を活用した実践的な訓練により、災害時における広域医療連携のあり方を検証し、体制の更なる充実を図る。	◎	・徳島県で 10 月 30 日に開催された「近畿府県合同防災訓練」により、関西広域連合管内のみならず、奈良県や福井県、三重県の DMAT に参加いただいた。 ・患者の受け入れ調整などの関西広域連合として初の図上訓練も行い、一定の成果をあげた。 ・和歌山県のドクターヘリに訓練に参加いただき、その間大阪府のドクターヘリが和歌山県をカバーし、相互補完体制構築の検証を行った。

計画以上=◎ 概ね計画どおり=○ 計画どおりに進んでいない=×

<b>達成状況（中間）の総合評価</b>	<b>取組みを踏まえた今後の課題</b>
・「広域的なドクターヘリの配置・運航」や「災害時における医療連携体制」など、関西の府県域を越えた広域救急医療連携の更なる充実に向け、関西広域連合及び構成府県の取り組みを定め、「関西の安全・安心」の実現に資する「関西広域救急医療連携計画」の成案化に向け最終のとりまとめを行っている。また、具体的な取組みについても、近畿府県合同防災訓練を活用した「災害医療訓練」を行ったほか、ドクターヘリの移管や運航拡大、相互補完体制の構築に向けて調整を図るなど、今年度の運営目標を達成すべく、広域医療における連携を推進している。	「広域的なドクターヘリの配置・運航」については、各府県や関係機関等との調整が今後も必要であり、引き続き協議調整を行っていく。 「広域災害医療体制」の構築については、現在、具体の検討を行っているところであり、今後、各府県との意見調整や部会での協議を行っていく。

**地球環境への対応、持続可能な社会を実現する関西【平成23年度運営目標 広域環境保全分野】**

<b>戦略的課題（目指すべ方向性）</b>	<b>◆地球環境への対応、持続可能な社会を実現する関西</b> ○関西のこれまでの取組の経験や蓄積を活かしながら、「温暖化対策」と「生態系の保全」の2つを柱として、環境先進地域“関西”を目指す。	
<b>施策推進上の目標（実現に向けた今年度の目標）</b>		
計画以上=◎ 概ね計画どおり=○ 計画どおりに進んでいない=×		
<b>平成23年度運営目標</b>		<b>達成状況（中間）</b>
<b>◆関西広域環境保全計画」の策定</b> ・関西における環境分野の広域的課題に対処していくため、関西が目指すべき方向や取り組むべき施策のあり方、広域連合の役割等を定めた「関西広域環境保全計画」を策定する。	○	・関西広域環境保全計画中間案の策定（平成23年8月） ・パブリックコメント実施（10名から延べ30件）（平成23年9月） ・関西広域環境保全計画策定検討委員会（3回開催）
<b>◆温室効果ガス削減のための広域取組</b> ・温室効果ガスの排出削減に係る住民や事業者に対する啓発事業の広域的な取組、関西スタイルのエコポイント事業の実施に向けた検討や信頼性の高い温室効果ガス削減に資するクレジットの広域活用等に係る調査検討、電気自動車の普及促進に向けた広域的な取組を行うことにより、温室効果ガスの削減を図る。	○	・統一ポスター作成・配布（関西夏のエコスタイル：5月） ・節電対策重点キャンペーンの実施（6月22日～9月23日） ・関西スタイルのエコポイント試行事業実施（7月～12月）
<b>◆府県を越えた鳥獣保護管理の取組</b> ・府県をまたがり広域的に移動し被害を与えている野生鳥獣のうち、近年特に被害が深刻化しているカワウについて、生息動向調査を実施するとともに、有識者による専門委員会を設置し、計画骨子案の検討・とりまとめを行う。	○	・関西地域カワウ広域保護管理計画検討委員会（1回開催） ・関西地域カワウ生息動向調査実施（春期、夏期および琵琶湖については9月）

<b>達成状況（中間）の総合評価</b>	<b>取組みを踏まえた今後の課題</b>
・関西広域連合が関西における環境分野の広域的課題に対処していくため、関西が目指すべき姿、施策の方向性、取り組むべき施策等を定めた「関西広域環境保全計画」の成案化に向け最終のとりまとめを行っている。また、具体的な取組みについても、関西の経済界等と連携し「関西夏のエコスタイル」の統一ポスターを作成・配布したこと、関西スタイルのエコポイント試行事業において施行実績の積み上げを踏まえこの仕組みが自立的に展開できるよう検討を続けていること、関西地域カワウ広域保護管理計画の策定に向け生息動向調査を実施するなど、今年度の運営目標を達成すべく、計画的に事業を推進している。	・「関西広域環境保全計画」の策定について、他分野計画との整合を図る。 ・エコオフィス宣言事業の再登録等を進め、住民・事業者啓発事業の推進を図る。 ・関西スタイルのエコポイント事業が自立的に展開できる仕組みを構築する。 ・クレジットの広域活用について、調査検討を進め課題を抽出する。 ・電気自動車の普及に向け、充電インフラなどを活かした継続的な取組の推進を図る。 ・関西地域カワウ広域保護管理計画の策定に向け年度中に骨子案を策定する。

**広域職員研修の実施【平成23年度運営目標 広域職員研修分野】**

<b>戦略的課題（目指すべき方向性）</b>	<p>◆<b>広域研修の実施</b></p> <p>○高い業務執行能力と府県境を超えた広い視野を持つ職員の養成を図る。</p> <p>○職員間の交流を深め、人的ネットワークの形成につなげる。</p>
------------------------	---

<b>施策推進上の目標（実現に向けた今年度の目標）</b>	計画以上=◎ 概ね計画どおり=○ 計画どおりに進んでいない=×
-------------------------------	---------------------------------

平成23年度運営目標	達成状況（中間）
<p>◆<b>政策形成能力研修の実施</b></p> <p>・関西における共通課題等について研究を行うことを通じ、広域的な視点での政策形成の能力向上を図ることを目的とした研修を実施します。</p> <p>※ 開催時期：平成23年 8月、10月          開催場所：和歌山県 高野山          受講定員：30名×2回（各府県10名ずつ）          研究テーマ：観光振興</p>	○
<p>◆<b>研修事業の充実化</b></p> <p>・今年度における研修の実施効果を踏まえ、より効果的、効率的な研修のあり方について参加府県と検討を行いながら、次年度以降の事業内容の充実化を図ります。</p>	○

達成状況（中間）の総合評価	取組みを踏まえた今後の課題
<p>・平成23年度事業（政策形成能力研修）について、受講者から「各府県職員の異なる考え方を学んだ」、「人事交流に大いにつながった」等の御意見をいただいた。さらに、研修後も、受講者が自主的に交流の場を設ける等、連携を深めていると聞いていることから、一定の目的を達成したものと考えている。また、新たな事業展開についても計画しており、事業内容の充実に向けた取組を進めることができている。</p>	<p>・府県連携型研修における、府県職員（受講者）にとって特色があり能力向上につながる研修メニューの増加を図る。</p> <p>（研修例）：地域活性化の取組に係る先進事例を学ぶ研修          企業理念の中から公務に取り入れるべきものを学ぶ研修          被災等、時宜に適したテーマによるセミナー</p> <p>・WEB型研修等の事業の効率化につながる取組の推進を図る。</p>

各種試験の一元化により、事務の効率化を目指します【平成23年度運営目標 資格試験・免許等分野】

<b>戦略的課題（目指すべ方向性）</b>	<p>◆資格試験・免許事務を集約し、一元的な実施・管理により効率化を図ります</p> <p>○平成25年度からの各試験（調理師、製菓衛生師及び准看護師）の実施と免許交付等事務の実施を目指します。</p> <p>○各種試験を統一的に実施する資格試験・免許の種類を段階的に拡充することより、さらなる事務処理の効率化を図ります。</p>
-----------------------	---

<b>施策推進上の目標（実現に向けた今年度の目標）</b>		計画以上=◎ 概ね計画どおり=○ 計画どおりに進んでいない=×
<b>平成23年度運営目標</b>		<b>達成状況（中間）</b>
<p>◆試験免許統合システムの構築</p> <p>・各府県において管理しているデータを広域連合で一元管理するためのシステムを構築する。 （平成23年度～平成24年度）</p>	○	<p>・システム開発業者と契約締結、システム改修を開始（平成23年11月） 大阪府の既存システムを活用することで、約2千4百万円の経費削減を行った。 契約期間：平成23年11月～平成25年3月</p>
<p>◆試験実施要領・免許事務マニュアルの作成</p> <p>・各府県で実施している試験・免許等管理事務を広域連合で一元化し、効率的に運用するためのマニュアルを作成する。</p>	○	<p>・参与会議の開催（2回） 実施事務の基本的な制度設計について検討しました</p> <p>・ワーキングチームにおいて効率的な運用について検討（平成23年8月設置、4回開催） 調理師・准看護師の試験・免許事務マニュアル、試験委員、試験会場について検討した。</p>

<b>達成状況（中間）の総合評価</b>	<b>取組みを踏まえた今後の課題</b>
<p>・概ね、予定通りのスケジュールで検討が進められている。</p> <p>・試験免許統合システムの構築について、既存システムを活用することにより、約2千4百万円の経費削減を行った。</p> <p>・引き続き、経費や職員の低減を行うとともに、受験者の利便性の向上につながるよう検討する。</p>	<p>・平成24年度から徳島県が新たに参画するための手続が進めており、今後、2府4県での事業実施に向けて検討していく。</p>